

1 日時	平成26年9月19日（金） 9時30分～11時10分
2 場所	防府市役所1号館3階 南北会議室
3 出席者	<p>【委員】 十楽委員、岡永委員、今川委員、林委員、池永委員、 西田委員、脇委員、湯面委員、東福委員、松永委員、 山崎委員、島田委員、広石委員、原田委員、白石委員、 潮見委員、福田委員</p> <p>※欠席：村田委員、田村委員、宮本委員</p> <p>【行政推進委員】 工藤健康福祉部次長兼健康増進課長、 吉鶴教育委員会参事兼学校教育課長 （事務局） 藤津健康福祉部長、清水健康福祉部次長、 中谷子育て支援課長、柳子育て支援課長補佐、 金澤子育て支援課長補佐、田中子育て支援課保育係長 （コンサルタント） 株式会社ぎょうせい 木下主任研究員、池田主事</p>
4 傍聴者	4名
5 議題	(1) (仮称) 防府市子ども・子育て支援事業計画について (2) その他

1 開会

2 健康福祉部長挨拶

- 昨年7月の本会議発足から9回目の開催となるが、まだ委員意見をいただきたい項目が残っており、9月議会に会議開催経費を追加する補正予算を提出した。
- 景気判断が下方修正されたが、平成27年4月の新制度移行に向け、しっかり準備を進めていかななくてはならない。

3 議事

- 会議の成立

【事務局】

- ・ 出席委員 17 人で総委員数の 20 人の過半数を超えており、会議の成立を宣言。

○ 会議の公開

【会長】

会議は前回同様、公開として進行する。

(1) (仮称) 防府市子ども・子育て支援事業計画について

【事務局】

- ・ 新制度スタートに向け、山口ケーブルビジョンの「ほうふほっとライン」の放映、市ホームページにポータルサイトを立ち上げるなど、情報の周知を図りたい。
- ・ 子ども・子育て支援事業計画は、今日で取りまとめいただき、パブリックコメントを 11 月から開始したい。
- ・ 放課後児童健全育成事業（留守家庭児童学級等）と放課後子ども教室の計画的な整備のため、国から「放課後子ども総合プラン」が示された。次世代育成支援行動計画に盛り込むようにされているが、現段階から協議、審議することは時間的に不可能であり、事業計画に取り込んでいくのは控えたい。今後、事業計画の見直し、修正という形での対応を検討せざるを得ない。

【委員】

- ・ 幼稚園の在園児数のグラフは学校基本調査（5 月 1 日時点）のものであり、これ以降に 3 歳になる子どもは含まれていない。

【委員】

- ・ 「放課後子ども総合プラン」が示され、保育が必要でない子どもも利用できるとなると数量的予測がどう連動していくのか。放課後子ども教室と放課後児童健全育成事業は別物として捉えるのか。

【事務局】

- ・ 放課後児童健全育成事業は、今までどおり保育に欠ける子どもを引き受ける。放課後子ども教室は誰でもよいということで、各学校に設置する考えで行っている。別々という形。

【委員】

- ・ 現行の次世代育成支援行動計画は目標数字があり、事業計画では「検討します」という文言だけである。整合性をどのようにとるのか。

【事務局】

- ・ 各施策については、現行と同じように事業実績の取りまとめを行っていくこととし、配慮していきたい。

【委員】

- ・ 子育て短期支援事業が子育て短期支援事業と一時預かり事業の確保方策に出てくるが、それぞれで数字が違う。

【事務局】

- ・ 子育て短期支援事業には、国の集計上、ショートステイとトワイライトステイがあり、それぞれで計上している。

【委員】

- ・ 実施場所に「児童養護施設等」とあるが、防府市では児童養護施設でしか実施していない。「等」を取るべきではないか。

【委員】

- ・ 今まで「子どもを健やかに産み育てる環境づくり」だったところが、「妊産婦・乳幼児に関する切れ目のない保健環境づくり（健やか親子21）」となっている。「健やか親子21」というものは知らないがどのようなものなのか。

【事務局】

- ・ 「健やか親子21」というのは、防府市がやっている健康増進計画で現在は第1次計画である。第2次計画で食育計画と一緒にになり、再来年度にはできる予定である。

【会長】

- ・ 項目の変更について、経緯も含め検討していただきたい。

【委員】

- ・ 食育の推進で、保育所だけでなく幼稚園もやっていると委員が言われたが、表現が変わっていないが。

【事務局】

- ・ 現行の次世代育成支援行動計画については、策定時に幼稚園を位置づけていないため、掲載はしていない。今後の取組について

ては、幼稚園も含めて掲載している。

【委員】

- ・ 放課後児童健全育成で野島小学校の量の見込みが0であるが、載せるべきか否か、事務局のご意見を伺いたい。

【事務局】

- ・ 小学校区単位で区域分けをしており、該当者がいないということではあるが、除くことは考えていない。

【会長】

- ・ これから出てくる可能性がまったくないわけではないし、小学校区単位で整理、確保していくことから、一理あるのではないか。

【会長】

- ・ 交通安全と防犯は優先度が高いと評価されているが、事業計画にどのように入れ込んでいくのか。子育て支援の視点から子どもを守っていきたいということを、各所管に投げかけるような積極性がないと満足度に繋がってこないのではないか。

【事務局】

- ・ 事業計画には具体的に掲載しているわけではないが、「安心して子育てできる環境づくり」ということで記載している。次回の見直し等で具体的な記載に変えていくことも考えなければならないと思っている。

【会長】

- ・ 我々の見守り活動とあわせて、環境を整備していくことが一体となって初めて事件、事故から守ることができる。

【委員】

- ・ 「子供の貧困対策大綱」が出されたが、事業計画には子どもの貧困という言葉が出てこない。国の方もかなりの予算組みをするようであるが、防府市としても対策を採るなら入れておくべきではないか。

【事務局】

- ・ 防府市においても、学習の機会がなかなか持てない子どもを支援するということで、健康福祉部と教育委員会が一緒に支援の方法を考えているところである。計画のどの部分に入れ込むべ

きか考えたい。

【委員】

- ・ 「配慮を要する子ども、家庭への支援体制づくり」があるので、この中に入れればいいのか。

【会長】

- ・ 子どもの貧困は、就労、雇用や教育など子育て支援ですべてカバーできることはできない。貧困の連鎖をどうするかということが大事である。子ども・子育ては、学習の機会などの保障ということが大事になってくる。

【委員】

- ・ 計画の構成が「現状と課題」の後に「基本理念」、「基本的視点」となっており、「基本的視点」と事業計画が連動していない。流れが行ったり、来たりしているのではないか。

【会長】

- ・ ニーズ調査と次世代育成支援行動計画の実施状況を踏まえ課題を出し、基本目標を出しているように理解している。

【会長】

- ・ 今日の意見を踏まえ、これで進めるということによいか。

【委員一同】

(異議なし)

【会長】

- ・ 3年目に見直しをするというのが基本的な考えであり、次世代育成支援行動計画との継続性も踏まえて進めていくことであるから、これで子育て支援が完成したものではないと思う。現状を踏まえながら修正していくという考え方で進めていければと考えている。

(2) その他

【事務局】

- ・ 今後、新たに事業認可を受ける施設の利用定員の設定について、審議していただく予定である。
- ・ 事業PRのためパンフレットを作成し、就学前の子どものいる家庭に全戸配布している。

【委員】

- ・ 前回もあったが、アレルギー対策を行っている施設に対して、国や県の助成だけでなく市独自としての支援を検討していただきたい。

4 閉会